



防犯ふくおか

発行編集

公益社団法人 福岡県防犯協会連合会

〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
福岡県警察本部内
TEL 092(633)3221
ホームページ http://www.fukuboren.com/
印刷 白木メディア株式会社
TEL 092(623)8355

サイバー犯罪に気をつけよう! 毎年2月は「情報セキュリティ月間」

政府は、毎年2月を「情報セキュリティ月間」として定めています。

情報セキュリティは、コンピューターウイルスやサイバー犯罪などのインターネット上の危険から身を守るための知識です。情報セキュリティに関心なままでパソコンやスマートフォンを使い続けていると、いつ被害に遭うかわかりません。一人ひとりが正しい知識を身につけることが大切です。

警察本部サイバー犯罪対策課では、サイバー犯罪を「サイバー妖怪」に見立て、わかりやすくサイバー犯罪の態様や対処法等について紹介しています。



不正アプリ妖怪 ネコンギ

「占いアプリ」などと表向きの機能をうたっ
ていても、実際にはスマートフォンから個人
情報やデータをこっそり外部へ持ち出す。

- インストール時やアップデート時に表示されるアプリの権限をよく確認する。
- 不必要な権限を得ようとするアプリには注意する。
- ユーザーレビュー/評価を確認し、怪しいアプリをインストールしない。
- 信頼できるサイトからアプリを入手する。



ウイルス妖怪 オクルパス

メールにウイルスを添付して送りつ
ける。または、管理の甘いウェブサイト
を探し、ウイルスをこっそり忍び込
ませる。管理の弱いパソコンで、そ
のウェブサイトを開くとウイルスに感染してしまう。

- 送信元に心当たりがないメールの送付ファイルを開かない。
- OS・ソフトウェアの更新を徹底する。
- ウイルス対策のソフトウェアを最新の状態に保つ。
- ウェブブラウザのセキュリティレベルを上げる。



なりすまし妖怪 コンコン

他人の名前や盗用したID・パスワード
を利用し、その人になりすましてネッ
ト上で悪事を働く。

- 個人情報 を不特定多数の人が閲覧可能なウェブサイトには書込まない。
- パスワードを定期的に変更する。
- パスワードの使い回しをしない。
- フリーメールアドレスからのメールを安易に信用したり、個人情報を返信したりしない。



危険! 子どもが犯罪の被害者に! 知っておこうスマートフォンの危険性!

コミュニティサイトで被害に遭った児童の、サイトへのアクセス手段は、携帯電話が約9割を占め、そのうちの約8割がスマートフォンです。

有害サイトの閲覧が可能
携帯電話会社が提供する回線へのフィルタリングを施していても無線LAN(Wi-Fi)回線やアプリから有害サイトへの閲覧が可能になります。



犯罪の被害に遭う危険性が大
コミュニティサイト等から多数の人間との交流が容易に。うかつに会ったり、写真を送ったりしてしまうと犯罪の被害に遭う危険性が大きくなります。

不正アプリの配信
個人情報を抜き取る目的のための不正アプリなどが配信されており、個人情報が流出して、犯罪に遭うおそれがあります。

スマートフォンのフィルタリング知っていますか?

フィルタリングとは、インターネット上の不適切なサイトの閲覧や不適切なアプリの利用を制限するサービスです。
スマートフォンには、次の3つのフィルタリングの設定が必要です。

- ①携帯電話回線のフィルタリング**
携帯電話回線による有害サイトの閲覧をブロック
- ②無線LAN用フィルタリング**
端末内の無線LAN用のフィルタリングアプリで設定
▶無線LAN回線による有害サイトの閲覧をブロック
- ③アプリ用フィルタリング**
アプリの制限をする機器本体の機能を活用
(保護者のパスワード管理) ▶不適切なアプリをブロック

※フィルタリング設定の詳細は、ご契約された携帯電話会社にお問い合わせ下さい。

家族でルールづくりを!

家族で話し合っ「ルールづくり」を行い、スマホの危険性について認識を共有しましょう!

【具体例】

- ネットで知り合った人と直接会わない。
- 個人を特定される書き込みはしない。
- 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない。
- 人の悪口を書き込まない。
- ID・パスワードは保護者が管理する。
- 接続するサイトは保護者に確認する。
- ダウンロードするアプリは保護者に確認する。
- 知らない人からのメールは必ず保護者にみせる。
- 利用時間は1日〇時間まで。
- ルールを破ったときは利用を禁止する。

銃器犯罪のない安全な社会をめざそう!!

県内の発砲事件と拳銃押収

昨年(平成26年)は、拳銃等による発砲事件の発生はありませんでした。拳銃等の押収丁数は、33丁で、前年の15丁と比べ18丁増加しています。

拳銃等に関する情報をお寄せ下さい!

皆様の情報が暴力団を追放し、安全で安心して暮らせる福岡県を実現するため必要です。ご協力をお願いします。

- 知り合いの男が拳銃を持っている。
- 近所にあやしい拳銃マニアがいる。
- 暴力団員風の者が空き家や空き地、倉庫等に出入りし、何かを隠しているなどの情報は、迷わずご連絡下さい。

あなたの情報が、拳銃根絶につながります。

拳銃110番報奨制度

実名・匿名を問わず、あなたの情報により拳銃その他の銃器が押収され、かつ被疑者が検挙されたとき、状況に応じて報奨金が支払われる制度です。

【通報は、全国共通フリーダイヤル】

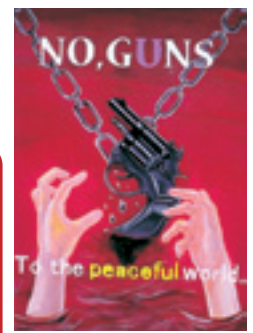
0120-10-3774

※原則として、通報者の発信地域を管轄する都道府県警察が受け付けます。

NO!GUNS



違法銃器根絶ポスター



平成27年 最優秀賞
九州産業大学附属九州高校
村上 まやさんの作品

「危険ドラッグ」は、絶対使用しない!

危険ドラッグとは、麻薬や覚醒剤など同様の危険性のある成分が含まれている薬物のことをいいます。

最近では、危険ドラッグを使用して、意識障害や呼吸困難等起こして死亡したり、車を運転して交通死亡事故や通行人等を襲って死傷させる事件が発生するなど、大きな社会問題になっています。

【検挙状況からみた特徴等(平成26年上半年から)】

- 平均年齢は34歳で、他の違法薬物を使用して検挙された者の平均年齢と比べ若い世代に広がっている。
- 約8割が薬物事犯初心者である。
- 危険ドラッグの入手先は、約6割が街頭店舗、約2割がインターネットで入手している。

合法を装った危険ドラッグ



危険ドラッグの恐ろしさ!!

危険ドラッグは、一度乱用すると麻薬や覚醒剤と同様に、依存症となり、止められなくなります。幻覚、妄想等の精神障害に陥り、凶悪な犯罪や重大な交通事故を引き起こすことがあります。「合法・脱法」「試薬・ハーブ」「ダイエットの薬」等といった手口で誘われ、つい乱用するケースが多くなっています。強い勇気をもって、きっぱりと断りましょう。

- 1 脳に悪影響を及ぼし、「心」も「身体」もメチャクチャになります。
- 2 自分の意志では止められなくなり、乱用する回数が多くなります。
- 3 乱用により凶悪な事件を引き起こすことがあります。
- 4 危険ドラッグ欲しさに罪を犯すようになります。
- 5 薬物は「使用する」ことはもちろん、「持っていること」「他人に渡すこと」も法律で禁止されています。

**コスモス・ネットワーク「安全安心フェスタ2014」
「安全・安心動画コンクール」を開催!**

平成26年11月30日(日)、福岡市中央区天神2丁目通称「ライオン広場」において、「コスモス・ネットワーク安全安心フェスタ」を開催しました。安全・安心動画コンクールにおいて、一般から公募した防犯動画の中から優秀作品の表彰を行いました。動画は、15秒と30秒部門で、30作品の応募があり、審査の結果、次のとおり決定しました。

優秀作品は、街頭ビジョンをはじめ、行政機関や病院、銀行、協力企業等で公開されています。

また、県警音楽隊によるミニコンサートも行われ、大きな盛り上がりを見せました。併せて犯罪抑止街頭キャンペーンを行い、性犯罪等の被害防止を呼びかけました。

【受賞者及び作品タイトル】

● 15秒動画部門

金賞 **タイトル「大人はヒーロー」**
福岡市立草ヶ江小学校
PTAおやじ組



銀賞 **タイトル「STOP飲酒運転～その笑顔を守るために」**
福岡市立野間中学校放送部

銅賞 **タイトル「ネットでの誹謗中傷」**
麻生情報ビジネス専門学校北九州校

● 30秒動画部門

金賞 **タイトル「小学生の安全」**
会社員 男性



銀賞 **タイトル「サギにご用心～高齢者の皆さん気をつけて」**
福岡市立野間中学校放送部

銅賞 **タイトル「STOP歩きスマホ」**
麻生情報ビジネス専門学校北九州校

**二セ電話詐欺被害を防ごう!
新通報制度で阻止!**



本県の昨年11月末現在の二セ電話詐欺の認知件数は、233件で、前年同期と比べ46件増加し、被害額は、約11億1,000万円にのぼり、約1億円増加しています。これからも多発するおそれがあり、一層の警戒が必要です。県警では、多発する二セ電話詐欺の被害防止を図るため、県内の金融機関と連携して

- 高齢者が高額現金を持ち帰る一定の取引は警察への通報
- 高齢者で高額現金払い出しを希望する取引にはアンケートシートを利用した聞き取りを実施
- 不審点を発見した際には警察への通報
- 防犯チェックシートの活用等



の取組を行っています。こうした取組により、被害阻止件数は大幅に増加し効果を上げています。

～通報制度で未然防止(被害防止事例)～

被害者方に男から「あなたに債権の購入権利が当たった」との電話があり、さらに後刻、別の男から電話があり、「あなたから1,000万円の入金があった。キャンセルは取引実績がないとできない」等と言われ、これを信じた被害者が取引実績を作るため銀行で現金引き出しをしようとした。

対応した銀行職員は、取引金額が高額であったことから、被害者に対しアンケートシートを活用した聞き取り調査を行い、被害者の様子や言動等から二セ電話詐欺の可能性が高いと判断、警察に通報し、被害が未然に防止された。

**若い力と情熱で安全・安心な地域社会をつくらう！
「学生ボランティアサミット2014」を開催**

平成26年12月13日(土)、14日(日)、宗像市の「グローバルアリーナ」において、福岡県警・佐賀県警主催、(公社)福岡県防犯協会連合会の後援による「学生ボランティアサミット2014」を開催しました。

この学生ボランティアサミットは、各学生ボランティア団体のリーダー等が一堂に会し、相互の情報交換と交流を深め、活動をより有意義なものへと発展させることを目的として開催しています。今回で5回目の開催で、13大学等から、約50名が参加しました。

第1部は、福岡県警察本部生活安全総務課の担当者による防犯学習、引き続き、NPO法人ガーディアン・エンジェルズ理事長の小田啓二氏による基調講演が行われました。第2部は、団体運営上の課題と対策等をテーマとしたワークショップ等を行い、活発な意見交換を行いました。翌日の第3部は、各団体が今後の目標を掲げ、サミット宣言を行いました。

参加した学生は、相互の交流を深め、学生ボランティアの意義、役割を再認識するなど有意義なものとなりました。



基調講演



ワークショップ



**青少年の非行防止と健全育成を願って!!
「非行から立ち直り支援県民フォーラム」の開催**

平成26年11月26日(水)福岡市中央区天神「アクロス福岡 国際会議場」において、福岡県、福岡県警が主催する、「非行から立ち直り支援県民フォーラム」が開催され、約300名が参加しました。

海老井福岡県副知事のあいさつにはじまり、長年にわたり青少年の健全育成に取り組んでいる団体に対する顕彰式が行われました。

次に、講演では、元プロボクサー SRSボクシングジム会長 坂本博之氏による「熱をもって接すれば、熱をもって返ってくる」をテーマとして、厳しい境遇にあっても夢を追い続けること、大人が関わり続けることの大切さを自らの体験等に基づいた講話がありました。

次に、「少年の立ち直りに必要なもの～スポーツ・仕事を通じた大人・仲間・地域との関わり～」をテーマとして、少年サポートセンター 少年育成指導官の金田律子氏をコーディネーターに、坂本博之氏、非行を克服した若者等によるトークセッションが行われました。

参加者は、社会全体で少年の立ち直りを支援する必要性について認識を深めるとともに、一層、少年非行防止と健全育成に取り組むことを誓いました。



講演 坂本博之氏



トークセッション

地域の力
頑張っています

**防犯ボランティア団体の紹介
(ペンリレール)**



◎団体名

久留米市上津校区防犯協会

◎活動地区

上津校区地域体

◎活動内容等

上津ハイパスが開通して、多くの商業施設が出来たことで、環境が激変し、空き巣が多発するようになりました。こうした中、「自分たちのまちは自分たちで守らなければならぬ」という気運が盛り上がり、平成14年4月、校区内の町内会から防犯指導員を選出して夜間の防犯パトロールを始めました。

主な活動は、

● 校区内の16町内会を班別して、青パトや徒歩での防犯パトロール

● 違法広告物除去作業(久留米市から認定)

● 児童の登下校時見守りパトロール

● 夏季巡回(たまり場)パトロール

● 歳末防犯特別巡回パトロール

● 警察との協働による防犯寸劇

などで、子ども達の安全を最優先に活動しています。このような活動が評価され、平成17年には警察庁から「地域安全安心ステーション」モデル事業の指定を受けました。

◎活動内容等

● 今後も評

● 励みになる

● 活動に力を入

● り取り組んで

● きます。

● 取り組みで

● きます。

● きます。

● きます。

● きます。

● きます。



◎団体名

槻田まちづくり協議会

◎活動地区

八幡東区槻田校区

◎活動内容等

私たちの団体は、平成18年4月、地域の安全・安心なまちづくりを強化するため、まちづくり協議会で生活安全パトロール隊を結成し、今年度は76名の防犯推進委員で活動しています。

主な活動は、

● 月一回の防犯パトロール

● 違法駐車車両等に対する警察と協働しての啓発活動

● 児童の登下校時の見守り活動

● 等を積極的に行っています。

● 今年度、北九州市の安全・安心条例が施行され、万人パトロールが行われましたが、私たちのパトロール隊も活動に参加し、地域住民の連帯感が生まれたことを実感しました。

● 私たち隊員は、今後も安全・安心なまちづくりに取り組んでいきます。

